

○概要



消防局の管内一目統計

令和7年4月1日現在（火災・救急・救助・通信は令和6年中）

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	793.30 k m ²	332,181人		149,806世帯
	佐賀市 431.81 k m ²	佐賀市 225,700 人	419人／k m ²	佐賀市 104,772 世帯
	多久市 96.56 k m ²	多久市 17,486 人		多久市 7,910 世帯
	小城市 95.81 k m ²	小城市 42,879 人		小城市 17,720 世帯
	神崎市 125.13 k m ²	神崎市 30,052 人		神崎市 12,529 世帯
	吉野ヶ里町 43.99 k m ²	吉野ヶ里町 16,064 人		吉野ヶ里町 6,875 世帯
予算・機構・人事	消防予算	局・署・所	職員数	消防団員数
	55億3997万円	消防局 1	定数 450 人	定員 6,269 人
	住民1人当り	消防署 6		実員 5,353 人
	16,678円	分署 3	実員 426 人	
	1世帯当り	出張所 5	(定数外職員32人除く)	(内女性団員147人)
	36,981円			
機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救急車	水利
	ポンプ車 17台	はしご車 3台	高規格救急車 20台 (非常用救急自動車含む)	消火栓 4,564基
	(救助ポンプ車4台含む)	救助工作車 3台		防火水槽 1,035基
	タンク車 9台	化学車 3台		
		災害支援車 2台		
		水難救助車 1台		
火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	救急事故種別
	90件	① 火入れ 14件	18,692件 1日あたり51.2件の割合で発生	① 急病 11,207件
	4.1日に1件の割合で発生	② 電灯・電話配線 7件		② 転院搬送 2,423件
		② こんろ 7件		③ 一般負傷 2,327件
		④ たき火 5件		④ 交通事故 1,350件
救助・通信	救助件数	救助事故種別	119番受信件数	災害別119番受信状況
	382件	① その他の事故 185件	30,211件 1日当り82.8件 (問合わせ、試験等含む)	火災 168 件
	1日に1.0件の割合で発生	② 交通事故 101件		救急 16,276 件
		③ 建物等による事故 59件		救助 234 件
		④ 水難事故 21件		警戒 1,867 件
予防	防火対象物	中高層建築物（4階以上）	危険物施設	市民防火
	消防用設備設置対象	4階～9階 987 件	製造所 9 件	幼年消防クラブ 74クラブ 4,025 人
	14,008件	10階以上 115 件	貯蔵所 662 件	少年消防クラブ 3クラブ 171 人
			取扱所 340 件	女性防火クラブ 1クラブ 7 人

地 勢

佐賀広域消防局管内は九州北西部に位置する佐賀県の中央部にあり、北は脊振山地から南は有明海に達します。

佐賀地方で前海(まえうみ)と呼ばれる有明海は、およそ8万年前の阿蘇山の大噴火によって九州全体に積もった土砂が風化して粘土質の泥に変わり、この泥が川によって海へ運ばれ、大きな干満に伴う潮位変動により堆積したことで広大な干潟となったといわれています。

この海は多くの河川が流れ込むことから栄養分が多く、全国有数のノリ養殖漁場となっているほか、秋には紅葉を見せる塩生植物のシチメンソウやムツゴロウなどといった国内では他に見られないめずらしい生物が約15種類も生息しています。

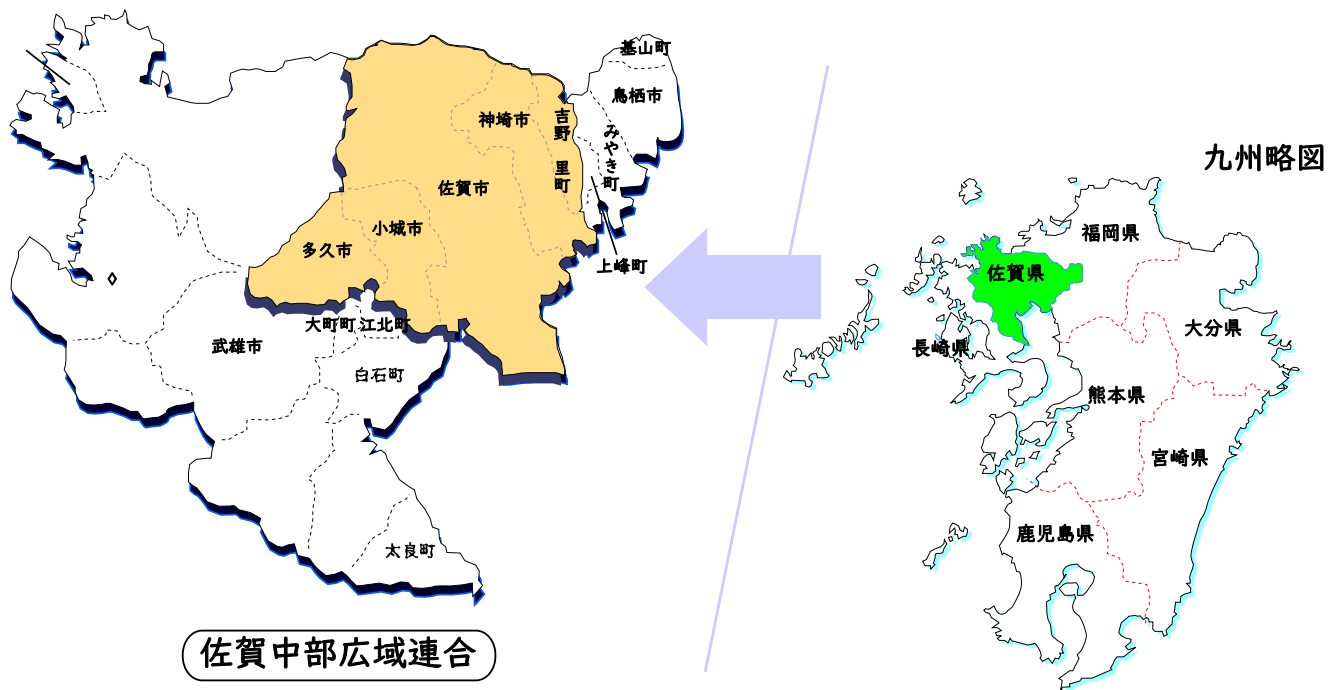
当消防局は、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の4市1町で構成されており、その管内面積793.3km²のうち、北部の山間部が約41%、西部の盆地が約11%で、それらを除くほとんどの土地は平坦な平野となっています。宅地・道路などの都市的利用以外は農地などの自然的利用とされていることから、春から夏にかけては緑のじゅうたんを敷き詰めたような田畑の景色を見ることができます。

また、管内を流れる主要河川である嘉瀬川をはじめ、平野部では河川、クリーク、水路が発達しており、農業用水としてのみならず火災時における消防用水としての役割も果たすなど、住民に多くの恩恵を与えています。

気 象

令和6年中の最高気温は8月で38.3度、最低気温は1月で-2度を記録しました。近年では大雨や最多猛暑日の更新など異常気象となることがあります。

位置図



佐賀広域消防局管内図

構成市町の紹介

佐賀市

SagaCity



市の木
いちよう

市の花
さくら



佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ

人口：225,700人
面積：431.81km²

佐賀市は、長崎街道沿いに往時の面影を残す歴史ある城下町であり、北部の森林と佐賀平野の緑、南には豊穡の有明海をのぞむ自然豊かな町でもあります。また、インターナショナルバルーンフェスタをはじめとするイベントや、温泉、個性的な動植物が生息する干潟など、多彩な魅力がいっぱいです。

平成27年7月には、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られた「三重津海軍所跡」が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。



有明海



三重津海軍所跡の木製護岸

多久市

TakuCity



市の木
かえで

市の花
うめ



多久聖廟（国重要文化財）

人口：17,486人
面積：96.56km²

「朋有り 遠方より来る 亦楽しからずや……」緑豊かな文教の地、多久市は、日本三大孔子廟の一つ多久聖廟をもつ孔子の里として、東原庫舎（藩校を復元した研修施設）、四季を楽しめる西溪公園や武家屋敷など歴史と文化の香りが漂うまちです。



西溪公園

小城市

OgiCity



市の木
さくら

市の花
さくら



江里山棚田の彼岸花

人口：42,879人
面積：95.81km²

小城市は、北には秀峰天山、南には宝の海有明海を有しています。春には満開の桜、夏には蛍の乱舞、秋には棚田の彼岸花、冬には味なる有明海の幸など、1年を通じて見どころが満載です。



小城公園の桜

構成市町の紹介

神崎市

KanzakiCity



市の木
もみじ

市の花
さくら



国の名勝 九年庵

人口：30,052人
面積：125.13km²

神崎は古代から常に人の往来と定住があった所で、弥生時代には巨大環濠集落、奈良時代には神崎郡衙、中世には平家の基礎財力がこの地で蓄えられました。

江戸時代、長崎街道神崎宿には本陣、脇本陣が備えられ東肥前の経済の中心を成していきました。

脊振山頂からの標高差のある風景は観光素材となり、特に九年庵は九州の紅葉の名所として知られています。



神崎市マスコットキャラクター
くねんワン・くねんニャン

吉野ヶ里町

YoshinogariTown



町の木
さざんか

町の花
さくら



吉野ヶ里歴史公園

人口：16,064人
面積：43.99km²

吉野ヶ里町は、日本茶樹栽培発祥の地と伝えられる霊仙寺跡や日本最大級の環濠集落跡吉野ヶ里遺跡のある歴史浪漫のあふれる町です。

また、サザンカ自生北限地（国天然記念物）であり、脊振山の緑豊かな自然と佐賀平野の雄大な田園地帯が見せる四季折々の景色は多くの観光客を魅了しています。

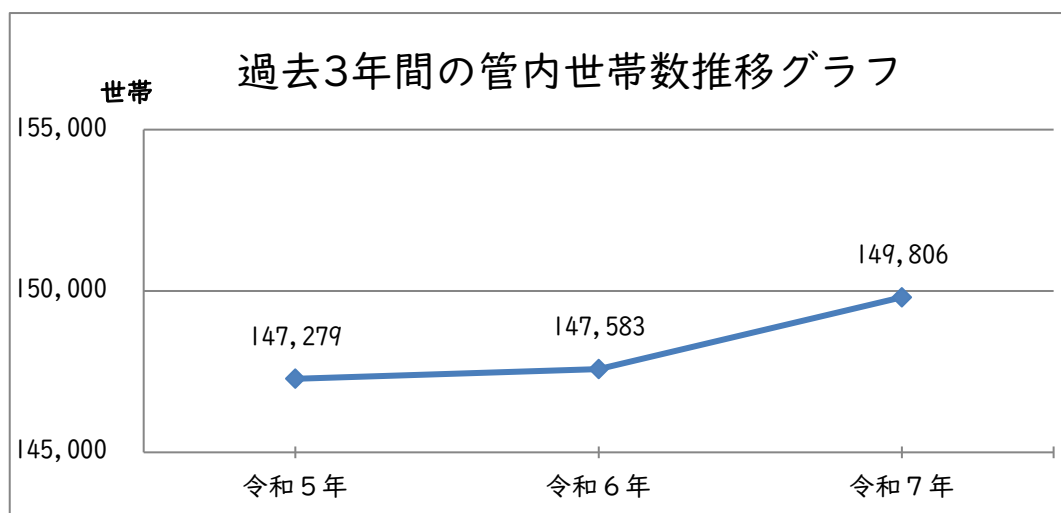
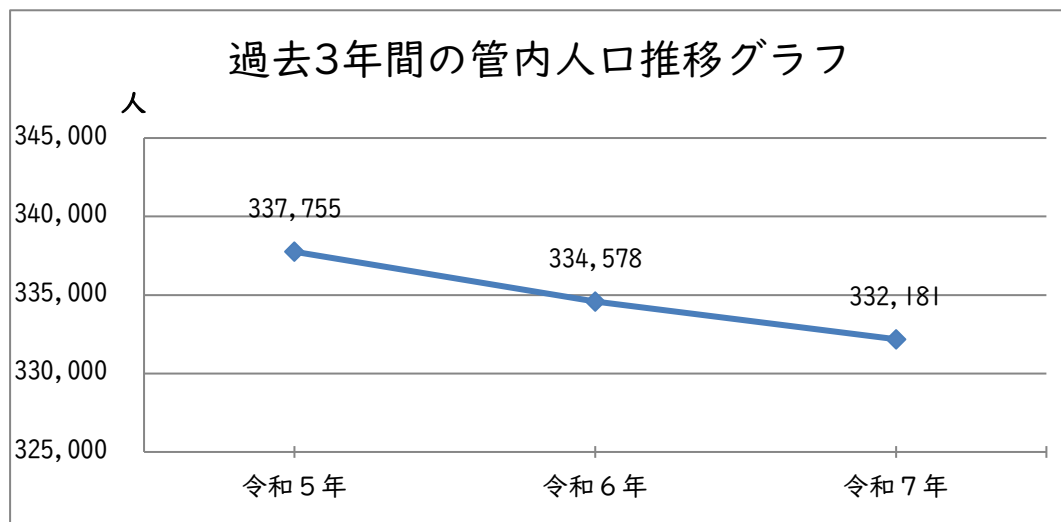


霊仙寺跡から望む茶畑の景色

佐賀広域消防局管内の人口等推移

令和7年4月1日現在

令和7年					
市	人口(人)	世帯	面積(k㎡)	人口比率	面積比率
佐賀市	225,700	104,772	431.81	67.94%	54.43%
多久市	17,486	7,910	96.56	5.26%	12.17%
小城市	42,879	17,720	95.81	12.91%	12.08%
神埼市	30,052	12,529	125.13	9.05%	15.77%
吉野ヶ里町	16,064	6,875	43.99	4.84%	5.55%
合 計	332,181	149,806	793.30	100.0%	100.0%



消防庁舎の現況

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
消 防 局	庁 舎	鉄筋コン クリート造 一部鉄骨造 地上4階	11,817.12㎡	6,961.58㎡ 1F 2,167.15㎡ 2F 1,999.39㎡ 3F 1,617.54㎡ 4F 1,135.46㎡ PH 42.04㎡	R3.1	   
				229.30㎡	R2.6	
				106.33㎡	R2.6	
				401.96㎡	R2.6	
				254.36㎡	R3.12	
	署 その他	4棟		51.25㎡	R3.1 R3.3 R4.3	
西 分 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	1,315.78㎡	540.65㎡ 1F 359.15㎡ 2F 181.50㎡	S58.3	
	その他	1棟		9.28㎡		
東 分 署	庁 舎	鉄骨造 2階建	1,827.57㎡	503.81㎡ 1F 361.20㎡ 2F 142.61㎡	H18.3	
	その他	1棟		10.35㎡		

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
多 久 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,676.51㎡	1,006.34㎡ 1F 550.23㎡ 2F 456.11㎡	H6.3	  
	車庫	鉄骨造 2階建		450.90㎡	H6.3	
	A訓練塔	鉄筋コン クリート造 5階建		174.00㎡	H6.3	
	B訓練塔	鉄筋コン クリート造 2階建		80.00㎡	H6.3	
	その他	2棟		73.40㎡	H6.3	
多 久 南 西 出 張 所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,452.06㎡	393.14㎡	R2.6	
	その他	1棟		4.41㎡	R2.9	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
南 部 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,624.89㎡	1,678.17㎡ 1F 1,085.37㎡ 2F 592.80㎡	H28.2	 
	訓 練 塔	鉄骨造 5階建		178.93㎡	S61.12	
	補 助 塔	鉄骨造 平屋建		19.11㎡	S61.12	
	そ の 他	1棟		8.82㎡	H28.2	
久 保 田 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 2階建	762.80㎡	349.16㎡ 1F 244.24㎡ 2F 104.92㎡	H20.12	
	そ の 他	1棟		3.24㎡	H20.12	
北 部 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,129.84㎡	1,786.26㎡ 1F 1,390.64㎡ 2F 395.62㎡	H25.8	 
	訓 練 塔	鉄骨造 2階建		36.00㎡	H25.8	
	そ の 他	1棟		8.24㎡	H25.8	
富 士 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,075.20㎡	329.67㎡	H17.8	
	そ の 他	1棟		11.96㎡	H17.8	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
小 城 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	7,035.67㎡	1,558.49㎡ 1F 996.89㎡ 2F 561.60㎡	H26.7	  
	訓練塔1	鉄骨造 2階建		82.76㎡	H27.3	
	訓練塔2	鉄骨造 2階建		71.74㎡	H27.3	
	訓練塔3	鉄骨造 2階建		27.50㎡	H27.3	
	補助訓練塔	鉄骨造 2階建		16.00㎡	H22.3	
	車庫	鉄骨 スレート造 平屋建		253.20㎡	H5.2	
	車庫	軽量鉄骨造 平屋建		48.95㎡	H23.3	
	その他	2棟		26.24㎡	H6.2 H26.8	
北 分 署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,508.96㎡	569.15㎡ 1F 426.59㎡ 2F 142.56㎡	H16.3	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
神 埼 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,370.30㎡	2,197.60㎡ 1F 1,441.57㎡ 2F 756.03㎡	H8.3	 
	A 訓 練 塔	鉄筋造 5階建		159.19㎡	H8.3	
	B 訓 練 塔	鉄筋造 2階建		81.43㎡	H8.3	
三 脊 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,801.59㎡	385.86㎡	H30.3	
	そ の 他	1棟		4.41㎡	H30.3	
吉 野 ヶ 里 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,390.41㎡	359.65㎡	H27.1	

消防車両一覧表

令和7年4月1日現在

種 別 所 属 別		ポ ン プ 車	救 助 ポ ン プ 車	タ ン ク 車	化 学 車	は し ご 車	救 助 工 作 車	水 難 救 助 車	高 規 格 救 急 車	指 揮 隊 車	災 害 支 援 車	機 動 連 絡 車	査 察 車	指 令 車	資 材 搬 送 車	林 野 火 災 工 作 車	連 絡 車 （ 普 ）	連 絡 車 （ 軽 ）	人 員 輸 送 車	燃 料 補 給 車	特 殊 車 両	合 計
局	総 務 課																2	1	1			4
	警 防 課									1		1						1	1			4
	予 防 課												1					1		1		3
	小 計									1		1	1				2	3	2	1		11
佐賀消防署	署	3		1		2	2		4	1			1		1			3	1		2	21
	西 分 署	1		1					1									1				4
	東 分 署	1		1					1									1				4
	小 計	5		3		2	2		6	1			1		1			5	1		2	29
多久消防署	署	1		2		1			1					1	1		1		1			9
	南西出張所		1						1									1				3
	小 計	1	1	2		1			2					1	1		1	1	1			12
南部消防署	署	1	1		1				1		1			1	1			1	1			9
	久保田出張所	1							1									1				3
	小 計	2	1		1				2		1			1	1			2	1			12
北部消防署	署		1	1	1			1	2					1	1			1	1			10
	富士出張所	1							1									1				3
	小 計	1	1	1	1			1	3					1	1			2	1			13
小城消防署	署	1		1			1		2		1			1	1			1	1			10
	北 分 署	1		1					1									1				4
	小 計	2		2			1		3		1			1	1			2	1			14
神埼消防署	署	1	1		1				2					1	1	1	1		1		1	11
	三脊出張所	1							1									1				3
	吉野ヶ里出張所			1					1									1				3
	小 計	2	1	1	1				4					1	1	1	1	2	1		1	17
合 計		13	4	9	3	3	3	1	20	2	2	1	2	5	6	1	4	17	8	1	3	108

※ 特殊車両：「水陸両用バギー」及び「重機」を示す。



重機



重機搬送車



消防ポンプ自動車C D－I 型

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

昭和23年 5月	佐賀市消防本部を設置
昭和38年 11月	多久市消防本部を設置
昭和44年 11月	神埼地区消防事務組合消防本部を設置
昭和46年 11月	小城地区消防事務組合消防本部を設置
昭和49年 3月	佐賀郡消防事務組合消防本部を設置
平成12年 4月	佐賀地区広域市町村圏組合佐賀広域消防局を発足 職員定数を343人とする 消防局に総務課、予防課、消防課、通信指令課を置く 5署1分署5出張所（旧消防本部の署所を引継ぐ）を置く 通信指令装置の運用開始
平成15年 3月	佐賀地区広域市町村圏組合を解散
平成15年 4月	佐賀中部広域連合佐賀広域消防局を発足
平成16年 3月	小城消防署北分署を新設 5署2分署5出張所となる
平成17年 8月	北部消防署富士出張所を新築移転
平成18年 3月	佐賀消防署東出張所と南部消防署諸富出張所を統合し、佐賀消防署東分署を新設 5署3分署3出張所となる
4月	総務省消防庁から高度救助隊設置の指定を受ける
5月	佐賀中部広域連合職員定数条例を改正、団塊世代の大量退職に伴い、前倒し採用 による対応を図る（定数外処理）
平成19年 4月	女性消防吏員を初採用
平成20年 4月	再任用制度を導入（5人再任用）
12月	南部消防署久保田出張所を改築
平成21年 1月	佐賀消防署に高度救助隊を置き、高度救助資機材を配置
4月	北部消防署に水難救助隊を置き、水難救助車を配置 小城消防署に特別救助隊を置き、救助資機材を配置
平成22年 4月	総務省消防庁の国際消防救助隊員に登録される（6名） 位置情報通知システム統合型の運用開始
平成23年 4月	消防救急通信指令システムを部分更新し、運用開始
平成24年 1月	佐賀中部広域連合内常備消防広域化基本合意書調印式を実施
平成24年 1月	佐賀県知事から佐賀中部広域連合佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部 の合併が許可される
平成25年 3月	神埼地区消防事務組合を解散
4月	神埼地区消防事務組合消防本部と合併 6署3分署4出張所となる 職員定数を425名とする

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

平成25年	8月	北部消防署を新築移転
平成26年	4月	消防救急デジタル無線の運用開始
	7月	小城消防署を改築
平成27年	2月	神埼消防署吉野ヶ里出張所を新設 6署3分署5出張所となる
平成28年	2月	南部消防署を改築
平成30年	3月	神埼消防署三脊出張所を新築移転
令和 2年	10月	多久消防署多久南西出張所を新設 6署3分署6出張所となる
令和 3年	2月	佐賀広域消防局・佐賀消防署を新築し、新佐賀広域消防局・佐賀消防署を運用開始
	4月	組織機構の改編に伴い、消防局「消防課」を「警防課」に、消防局「通信指令課」を「情報指令課」に、各消防署「警防1課及び警防2課」を「消防1課及び消防2課」に改める
		高機能消防指令センターの運用開始
	5月	佐賀消防署に防災学習広場を設置し、運用開始
	10月	救急出動体制強化等を図るため、佐賀消防署中央出張所の機能を佐賀消防署に移転統合し、中央出張所を廃止 6署3分署5出張所となる
令和 6年	4月	定年引き上げに伴い、職員定数を450人とする
		組織機構の改編に伴い、佐賀消防署「救急課」を「救急1課及び救急2課」に、佐賀消防署を除く各消防署「庶務1課及び庶務2課」と「予防指導1課及び予防指導2課」を統合し、「消防1課及び消防2課」に改める
令和 7年	4月	組織機構の改編に伴い、佐賀消防署を除く消防署に「庶務係」、「救急係」を設置する

各種協定の状況

[相互応援関係]

令和 7 年 4 月 1 日現在

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
糸島市との隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	糸島市	平成 25 年 4 月 1 日
久留米広域市町村圏事務組合との隣接常備 消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	久留米広域市町村圏事務組合	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	佐賀県下の消防本部 (5 本部)	平成 26 年 7 月 2 日
福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	筑紫野大宰府消防組合	平成 25 年 9 月 1 日
	鳥栖・三養基地区消防事務組合	
	春日・大野城・那珂川消防組合	
福岡市との常備消防相互応援協定 (東脊振) (火災・救急・救助・その他災害)	福岡市消防局	平成 2 年 4 月 1 日
福岡市との常備消防相互応援協定 (三瀬) (火災・救急・救助・その他災害)		昭和 61 年 7 月 24 日

[高速道路関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
長崎自動車道にかかる消防業務に関する 覚書	鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成 21 年 4 月 1 日
高速自動車道における消防の相互応援に 関する協定	佐世保市	平成 12 年 4 月 1 日
	県央地域広域市町村圏組合	
	杵藤地区広域市町村圏組合	

[空港関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合 柳川市	平成 20 年 1 月 1 日
佐賀空港及びその周辺における消火救難 活動に関する協定	佐賀空港事務所	平成 20 年 1 月 1 日

[無線関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
防災行政無線遠隔制御装置の運用に関する 協定等	佐賀市 (諸富町・大和町・富士町・ 川副町・東与賀町・久保田町) 小城市	平成 12 年 4 月 1 日
	多久市	平成 22 年 2 月 1 日
	神埼市・吉野ヶ里町	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県防災、行政衛星無線設備の管理及び 運用に関する委託協定	佐賀県	平成 12 年 4 月 1 日

[その他]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
他の都道府県若しくは他の都道府県に属する市の 消防防災ヘリコプターによる支援を受けた場合又は 同ヘリコプターとの合同訓練を行った場合の経費の 負担に関する協定	佐賀県	平成 25 年 2 月 20 日
災害弱者緊急通報システムに関する覚書	佐賀市	平成 20 年 4 月 1 日
	多久市	平成 12 年 4 月 1 日
	神埼市	平成 31 年 4 月 1 日
緊急消防援助隊佐賀県大隊の応援出動に おける食料等の供給に関する協定	佐賀県生活協同組合連合会	平成 28 年 10 月 28 日
災害時における消防用水等の供給支援に 関する協定	佐賀県生コンクリート工業組合	平成 29 年 12 月 26 日
緊急時の道路維持管理資材の使用に係る 協定	佐賀市、多久市、小城市、神埼市	令和 2 年 3 月 10 日
	吉野ヶ里町	令和 2 年 3 月 16 日
佐賀県消防防災ヘリコプター支援に係る協定	佐賀県	令和 3 年 3 月 22 日

※平成12年4月1日佐賀広域消防局再編に伴い、全面的に再協定を行う。

また、合併等で名称が変わったものについては、事務承継の観点から変更後の名称とする。